資料４



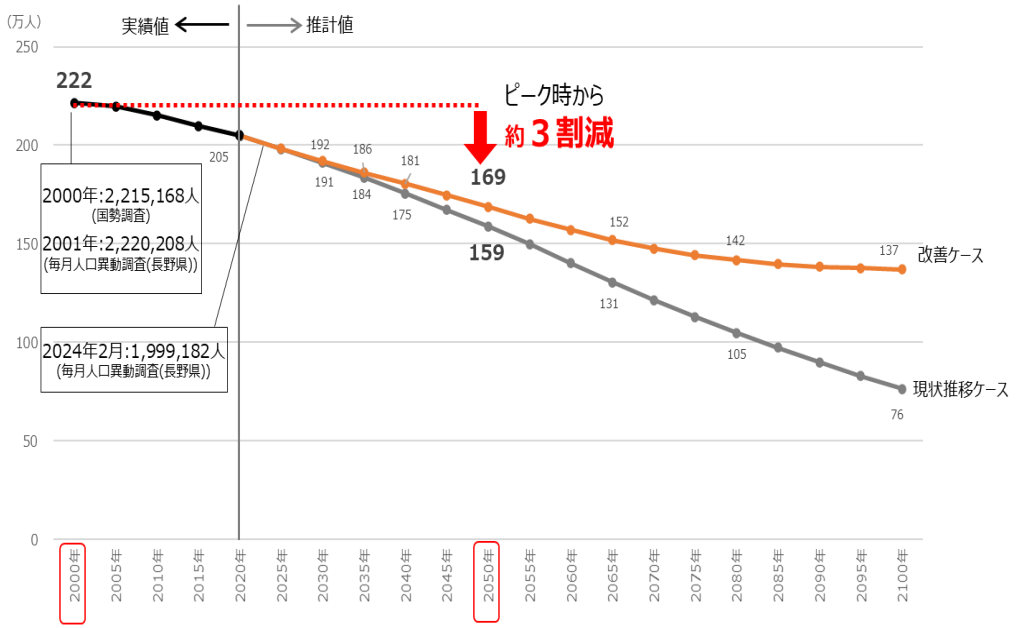
信州未来共創戦略
～みんなでつくる2050年のNAGANO～
の概要

私のアクション！未来のNAGANO創造県民会議

長野県の人口推計

（人口の現状と将来推計）

- 長野県の2050年の将来推計人口は、現状推移ケースでは159万人、改善ケースでも169万人となり、現状のまま何もしなければ、2001年のピーク時から約3割減少する**「7がけ社会」が到来**する見通し



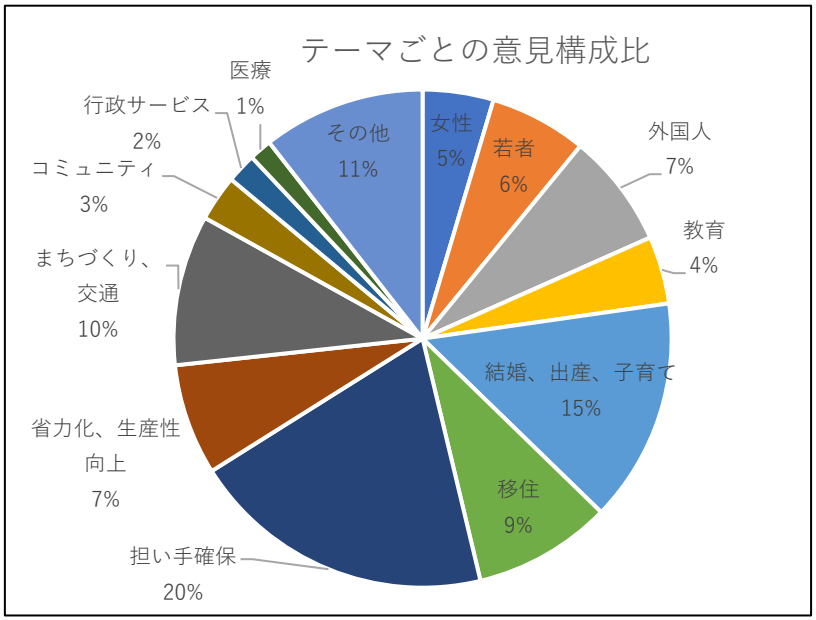
出典：2020年までは国勢調査（総務省）、2025年以降は長野県企画振興部推計

- 長野県の**合計特殊出生率は**1.30、全国を上回っているものの**5年連続で低下**
  今後、ただちに出生率が改善したとしても、**しばらくの人口減少は不可避**
- 高齢化が進み、2050年には**高齢者が総人口の4割を超える**見通し
- 現在、**出生数は過去最低を更新（少子化が加速）**
- また、20～24歳の転出超過が最も大きく、同世代の**女性の転出超過が最も深刻**
  一方で、30～39歳の**子育て世代は転入超過**が続いている

県民との対話

県民の皆さんと長野県の未来を考えました！（約150回、3,000人が参加！）

【対象者】県内在住者（学生、若者、女性など）
　　各種団体、企業関係者　　など
【期　間】令和6年4月から11月
【回　数】149回
【意見数】1,913件
【参加人数】2,872人







県民との対話で明らかになった課題

【主な意見】

女性・若者

- ライフステージや自分の価値観に応じた**柔軟な働き方や自由な生き方**ができることが重要
- 女性のリーダーを増やすなど**女性が輝ける社会の実現**
- **根強い年功序列意識を崩す**必要
- 都会に負けない娯楽や遊べる場所があり、移動に不自由ない**魅力的なまちづくり**
- **世代を超えたつながりや地域コミュニティ**づくり

教育・医療関係者

- **保育園におけるジェンダー平等の取組**を強化すべき
- 保健師や関係機関との連携を強化し、**地域全体で子育てを支援する仕組み**が重要
- 外国人への日本語教育だけでなく、**日本人への多文化共生の教育**が重要
- 地域や行政が一緒になって**外国人材を支えていく仕組み**が必要

移住関係者

- **移住に対する不安を取り除くような情報発信**をすべき
- **空き家利活用施策の推進**
- **長野県の強み**（豊かな自然、災害の少なさ、人の温かさ、首都圏までのアクセスの良さ、移住が人気）を生かした施策
- 教育移住も見据え、**特色ある教育**を進めていく必要

関係団体

- 行政運営の**効率化と業務の見直し**が必要
- **子育て支援サービスの充実や出産・子育てのための補助金、男女問わず育児に関わる意識の醸成**が必要
- 医療・介護の観点からも**コンパクトシティ化**を進める必要
- 働き手が減るので、**雇用形態の多様化、ICTによる省力化、生産性向上、人材のシェア、シニアの活用**などが必要

【県民会議準備会合】

オール信州で人口減少対策を進めるための県民会議立ち上げに向けた準備会合を開催（2024年6,9,11月）

（参加者）少子化・人口減少対策戦略検討会議のメンバー、非営利セクター、多文化共生や若者、女性、子育て、シニアなど、多様な団体・個人の方々

（主な意見）

- **自分事化**が非常に大切。
- **寛容な社会**をつくっていくことが必要。
- **結婚、子育ての素晴らしさ**を伝えていくことが重要。
- **まちづくりは非常に大事**。交通、病院などうまく整備することが大事。
- 人口減は不幸ではなく、**チャンス**でもある。
- **県民会議で価値観などを共有**し、学びと対話の機会となればよい。
- **アクションが一番重要**。県もしっかり会議に加わり取り組む必要。
- **県民全体に人口減少の事実を共有する**ことが必要。

「私のアクション！未来のNAGANO創造県民会議」推進中！

設立意義、目的

長野県から日本を変えよう！

○急激な人口減少による問題に、**オール信州で取り組む**ため、行政や産業界、地域、県民など多様な主体の参加により2024年12月23日設立

○人口減少社会の事実と課題を**学び**、当たり前を**問い直し**、**アクション**（行動）につなげる**仲間を広げ**、自らの取組を**進化・深化**

○従来型の会議ではなく、**多様な立場・年代の方がフラットに集まり対話**

参加者

団体：112団体

【主な団体】

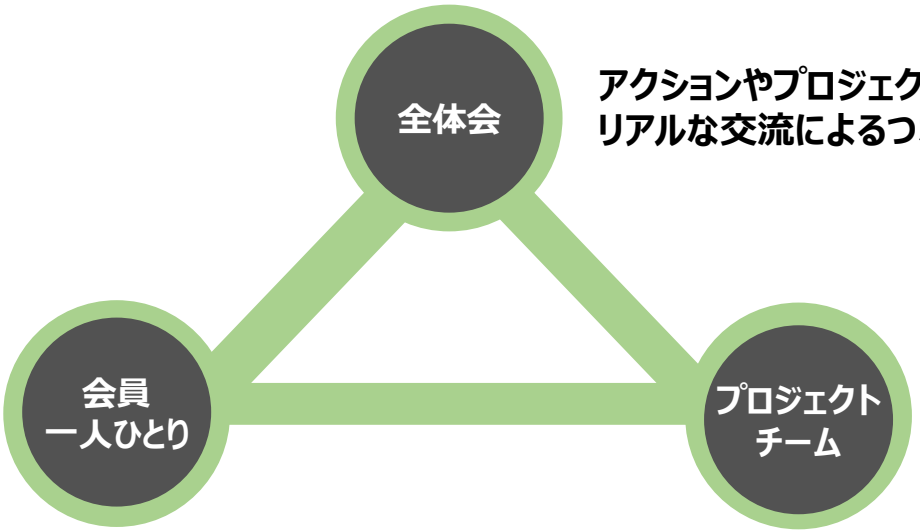
- 長野県
- 長野県市長会
- 長野県町村会
- 長野労働局
- 県内市町村
- 信州大学
- 県立大学
- 信濃教育会
- 県経営者協会等経済４団体
- 県農業協同組合中央会など
- 連合長野
- 県国際化協会
- 県NPOセンター
- 県医師会
- 県社会福祉協議会
- 八十二長野銀行
- 民放テレビ４局
- 新聞各社

など

個人：289名

（参加者数は2026/10/27現在）

県民会議の全体像



アクションやプロジェクトの全体共有・推進
リアルな交流によるつながりづくり

それぞれの立場で取り組むこと

アクション

戦略のテーマについて会員の共創で企画・実行

プロジェクト

この戦略は行政だけでなく、企業、地域、県民みんなで人口問題に向き合うための羅針盤です！

信州未来共創戦略～みんなでつくる2050年のNAGANO～のポイント



★この戦略は、多くの県民の皆さんと長野県の未来を考え、生まれました！（県民：約150回、3,000人、若者：HOPE2050）

閉鎖的な社会で
若者や女性が生きづらい

・強みを発信！
・移住者の不安解消

便利な交通！
災害にも強いまちづくり！

・働きたい職場がない！
・省力化や生産性向上が鍵

人口減少の事実を共有し、
これまでの当たり前を
考え直そう！

行政、企業、地域、県民みんなで取り組む方向性

寛容な社会づくり

➡ **若者・女性から選ばれる寛容な社会づくり**

・若者の社会参画の促進
・性別による固定的役割分担の解消
・共育ても当たり前な働き方への変革

▶ 2030年に目指す旗 ◀

- 若者の可処分所得が**県民平均以上に向上**
- 家事・育児時間男女格差 **2.0倍未満**
  ※4.2倍（2021年）
- 男性の育児休業取得率 **85%以上**
  ※36.7%[民間]（2023年）
- 全天候型の子どもの遊び場**増加**
- 無償で日本語や日本文化を学ぶ場がある

移住・つながり

➡ **信州の強みを活かした移住・関係人口の増加**

▶ 2030年に目指す旗 ◀

- 年間移住者数　**10,000人以上**
  ※3,363人（2023年度）
- 移住希望者ランキング**１位獲得**
  ※４位（2023年）

分散→集住・楽しいまち

➡ **安心・便利で持続可能な生活圏の整備促進**

▶ 2030年に目指す旗 ◀

- 安心・便利で、持続可能な**県土のグランドデザインをつくる**

経営等の革新

➡ **変革期を乗り越える経営等の革新**

・付加価値労働生産性の向上
・多様な人材の労働参加
・様々な主体の共創

▶ 2030年に目指す旗 ◀

- 多くの事業所が**DXやﾘｽｷﾘﾝｸﾞ**を積極的に推進　※DXに取り組む事業所39%（2023年）
- 女性の就業率 **70%以上**、高齢者の就業率 **全国１位を維持**
  ※女性：67.5%、高齢者：１位（2020年）
- 圏域ごとに行政体制のあり方について議論され、それを踏まえた取組が行われている